

# 外国につながる 子どもたちの支援 ：学校と地域の連携

一般公開

**小島祥美** 東京外国語大学 世界言語社会教育センター／  
多言語多文化共生センター准教授

**亀山陽子さん 神谷洋子さん** 武蔵野市教育委員会  
帰国・外国人教育相談室相談員

**木下理仁さん** 東海大学非常勤講師  
元・東京外国語大学ボランティア・コーディネーター

外国につながる子どもたちの支援のあり方、可能性について、具体的な事例を踏まえながら、パネルトーク&ワークショップ形式で話し合います。

岐阜県可児市は総人口約 10 万人で、うち 7,800 人が外国人住民の街です。2005 年度から外国人の子どもの「不就学ゼロ」をめざし、行政と学校と地域が連携して取り組んでいます。なかでも、日本語の初期指導を集中的に行う「ばら教室 KANI」(プレクラス)の役割は大きいです。そこでの取り組みに深く関わった小島祥美先生のお話をヒントにしながら、私たちの地域でできること、大学にできること、学生にできること等々、たくさんのアイデアを出し、可能性を探っていきたいと思います。

日時：2021 年 2 月 4 日(木) 3・4 限 (12:40～15:50)

参加申込↓

開催方式：オンライン(Zoom)

参加申込：必要(1 月 31 日まで)

申込フォーム(<https://forms.gle/iQR97prwTnLGLZXj7>)

定員に達した場合、参加をお断りする場合がございます。  
問い合わせ：shohagio@tufs.ac.jp(萩尾生／古橋綾)



# 小島祥美

東京外国語大学 世界言語社会教育センター／多言語多文化共生センター 准教授

小学校教員、NGO 職員を経て、一地方自治体（岐阜県可児市）の全外国籍の子どもの就学実態を日本で初めて明らかにした研究成果により、同市教育委員会の初代外国人児童生徒コーディネーターに抜擢。愛知淑徳大学を経て、2020年9月より現職。

文部科学省「夜間中学設置推進・充実協議会」委員をはじめ、全国各地の自治体の外国人教育にかかわる委員を歴任。文部科学省外国人児童生徒等教育アドバイザーの一人。2015年に長男を出産し、外国にルーツを持つ子どもの保護者らと地域で交流しながら子育て中。



# 木下理仁さん

東海大学非常勤講師

2019年まで東京外国語大学ボランティア・コーディネーターとして活動。

## 武蔵野市教育委員会帰国・外国人教育相談室

### 亀山陽子さん

主に英語を担当し、母語話者の言語サポーターを学校へ派遣し、面談通訳や学校からの配布物の翻訳の仕事を行います。イギリス統治下時代の香港で3年間働いていました。趣味はヨガや旅行。モルモットが大好きです。当相談室で働いて11年目です。

### 神谷洋子さん

主に日本語指導を担当。学校に日本語指導員を派遣し、外国籍、国際結婚家庭児童生徒の日本語指導支援に関わるコーディネートをしています。当相談室で働いて4年目。家族でシンガポールに4年間住んでいました。漬物づくり、発酵食品が大好きです。

